

施策評価シート

施策等名称	安全で人にやさしいまち ー安全な生活環境の確保ー	体系番号	0301010102
		主管課	環境課

1 施策基本情報

現状と課題	公害の発生源となる可能性がある特定施設及び特定建設作業については、届出義務が法律や条例に定められている。生活の多様化により典型7公害(大気・水質・騒音・振動・悪臭・地盤沈下・土壤汚染)をはじめとした様々な公害苦情が寄せられている。野焼きの煙による悪臭、隣地の空家や空地の木からの害虫(アメシロ、ハチ)などの苦情は近年特に多い。 昭和45年から水質検査を実施しており、事業活動等により諏訪湖、河川等が汚染されないよう、行政が率先して水質検査を実施し監視していく必要がある。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	培ってきた知恵と最先端の技術により、人の生活や活動が環境へ及ぼす影響を低減し、安全で安心して暮らすことができるまちを目指す。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
				改善	改善
①	生活苦情処理件数	年間に処理をした苦情件数(件)	176.00	改善	改善
②	市内主要河川におけるBOD環境基準達成度	BOD(生物化学的酸素要求量)の環境基準達成度(%)	100.00	100.00	100.00
③	合併処理浄化槽法定検査受検率	合併処理浄化槽の法定検査受検率(%)	22.30	45.00	70.00

施策の柱 1	名称	健康で安全な生活環境の確保			主管課	環境課			
	詳細	公害防止対策の強化や新たな環境問題への対応を進める。							
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分	
	1	生活苦情処理件数	年間に処理をした苦情件数(件)	176.00	改善	1	公害防止事業	実施	
					改善	2	水質検査事業	実施	
	2	市内主要河川におけるBOD環境基準達成度	BOD(生物化学的酸素要求量)の環境基準達成度(%)	100.00	100.00	3	合併処理浄化槽設置整備事業	実施	
					100.00	4	犬・猫等飼育動物関係事務	実施	
	3	合併処理浄化槽法定検査受検率	合併処理浄化槽の法定検査受検率(%)	22.30	45.00	5			
					70.00	6			
	基本政策間連携								
	施策の柱 2	名称				主管課			
		詳細							
		まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
		1					1		
							2		
2						3			
						4			
3						5			
						6			
基本政策間連携									
施策の柱 3		名称				主管課			
		詳細							
		まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
		1					1		
							2		
	2					3			
						4			
	3					5			
						6			
	基本政策間連携								

施策等名称	安全で人にやさしいまち ー安全な生活環境の確保ー				体系番号	0301010102	
					主管課	環境課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

評価	項目		2018年（前年度比）		2019年（前年度比）		2020年（前年度比）		2021年（前年度比）		2022年（前年度比）		2018年～2023年（総括）	
	投資額	事業費(円)	17,342,472		13,461,485	0.78	14,730,540	1.09	12,197,713	0.83	14,319,267	1.17	11,910,426	0.83
		うち一財(円)	7,702,472		6,008,185	0.78	6,376,540	1.06	5,741,713	0.90	6,485,267	1.13	5,575,426	0.86
		増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合 に記載)			合併処理浄化槽設置補助金申請者の減				合併処理浄化槽設置補助金申請者の減		合併処理浄化槽設置補助金申請者の増		合併処理浄化槽設置補助金申請者の減	
	進捗評価		順調		順調		順調		順調		順調		順調	
総合評価		主な取組内容や成果	公害苦情処理の内、軽微なものについては即時解決させ、長引きそうなものについては次年度に持ち越さぬよう、年度内解決を目標に取り組んでいる。 水質検査におけるBODは、環境基準達成率100%である。		公害苦情処理の内、軽微なものについては即時解決させ、長引きそうなものについては次年度に持ち越さぬよう、年度内解決を目標に取り組んでいる。 水質検査におけるBODは、環境基準達成率100%である。		公害苦情処理の内、軽微なものについては即時解決させ、長引きそうなものについては次年度に持ち越さぬよう、年度内解決を目標に取り組んでいる。 合併処理浄化槽の法定検査率は順調に上昇している。		公害苦情処理の内、軽微なものについては即時解決させ、長引きそうなものについては次年度に持ち越さぬよう、年度内解決を目標に取り組んでいる。 合併処理浄化槽の法定検査率は順調に上昇している。		軽微な公害苦情等については即時解決させ、長引きそうなものについても年度内解決を目標に取り組んでいる。 合併処理浄化槽の法定検査率は順調に上昇している。		(R5評価)軽微な公害苦情等については即時解決させ、長引きそうなものについても年度内解決を目標に取り組んでいる。 合併処理浄化槽の法定検査率は順調に上昇している。 (総括評価)設定した目標指標を達成することができた。	
		課題	空き家や空き地など、所有者が不在の土地を発生源とする苦情の増加が課題となっている。 (管理不行き届きによる雑草の繁茂、害虫の発生など)		顔見知りであることによる匿名での苦情や、空き家や空き地など所有者が不在の土地を発生源とする苦情の増加が課題となっている。		顔見知りであることによる匿名での苦情や、空き家や空き地など所有者が不在の土地を発生源とする苦情の増加が課題となっている。		顔見知りであることによる匿名での苦情や、空き家や空き地など所有者が不在の土地を発生源とする苦情の増加が課題となっている。		人口減少による空き家や空き地など所有者が不在の土地を発生源とする苦情の増加が課題となっている。また、住居地と農地との混在による野焼きなどに対しての苦情も多い。		人口減少による空き家や空き地など所有者が不在の土地を発生源とする苦情の増加が課題となっている。また、住居地と農地との混在による野焼きなどに対しての苦情も多い。 (総括評価)騒音、大気汚染については、法的な規制はクリアしているが、市民感情で苦情を相談されるケースがほとんどである。	
改革・改善	改革・改善内容		空き家や空き地を発生源とする苦情は、早期に所有者を調査し、改善の指導を行う。		近所同士のトラブルにおいては、申立者の言い分だけを聞くのではなく実際に状況を確認し、公平性のある対応に努めなくてはならない。		近所同士のトラブルにおいては、申立者の言い分だけを聞くのではなく実際に状況を確認し、公平性のある対応に努めなくてはならない。 空き家等については、他部署と連携し対応にあたる。		近所同士のトラブルにおいては、申立者の言い分だけを聞くのではなく実際に状況を確認し、公平性のある対応に努めなくてはならない。 空き家等については、他部署と連携し対応にあたる。		近所同士のトラブルにおいては、申立者の言い分だけを聞くのではなく実際に状況を確認し、公平性のある対応に努めなくてはならない。 空き家等については、他部署と連携し対応にあたる。		近所同士のトラブルにおいては、申立者の言い分だけを聞くのではなく実際に状況を確認し、公平性のある対応に努めなくてはならない。 空き家等については、他部署と連携し対応にあたる。	
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1		1		1		1		1		1	
		重点事業	1		1		1		1		1		1	
		理由	公害苦情が多いと市民満足度が下がるため、早期に解決を図ることが重要。		公害苦情が多いと市民満足度が下がるため、早期に解決を図ることが重要。		公害苦情が多いと市民満足度が下がるため、早期に解決を図ることが重要。		公害苦情が多いと市民満足度が下がるため、早期に解決を図ることが重要。		公害苦情が多いと市民満足度が下がるため、早期に解決を図ることが重要。		公害苦情が多いと市民満足度が下がるため、早期に解決を図ることが重要。	

作成担当者	宮坂 佳樹	笠原 直弘	笠原 直弘	渡邊 大	渡邊 大	渡邊 大
最終評価責任者	堀内 俊彦	岩島 善俊	岩島 善俊	小平 雅文	小平 雅文	平沢 幸人
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日	2021年5月28日	2022年5月30日	2023年10月19日	2024年7月12日